

まちの日記帳



札幌市身体障害者福祉センターを見学

10/
18→19

積丹町身体障害者福祉協会(葛西敏夫会長)は、日常生活意欲の向上等を目的とし、町外視察研修を行いました。

今回は、札幌市身体障害者福祉センターを見学し、施設の概要や活動状況などの説明に、14人の参加者は熱心に聞き入っていました。

なお、町身体障害者福祉協会では、新規会員を随時募集しております。町内に在住で身体障害者手帳の保持者又はその家族等も入会できます。詳しくは、事務局(町住民福祉課)までお問い合わせください。



海難事故を防ごう!

10/
24

秋期漁業の盛漁期を迎えるこの時期、北海道海域周辺で各種漁業の活発な操業が行われることから、(社)北海道漁船海難防止・水難救済センターは、「秋期漁船海難防止強調運動」期間に合わせ、海難防止パレードを行いました。

パレードは、同センターのほか、後志支庁や海上保安部、漁協、町職員など9人が参加、町内の各漁港を巡回し、漁業者などに対して風船やポケットティッシュなどを配布しながら海難事故防止を呼びかけました。



勝利へアタック!

10/
24

第15回B&G会長杯バレーボール大会が海洋センターで開催されました。

女子の部のみで争われた大会には、3チーム19人と参加チームが少ない状況ではありましたが、各チームとも優勝を目指して白熱した戦いが展開され、会場は熱気に包まれていました。なお、大会結果は次のとおりです。

- 【優勝】 ドタバタチーム (代表 青木登紀子さん)
- 【準優勝】 フレッシュチーム (代表 郷六奈津子さん)
- 【第3位】 あいのりチーム (代表 松浦 敏子さん)



手話を通じたコミュニケーション 10/25

手話に関心を持つ北後志在住者を対象とした「手話奉仕員養成講座」が余市町入舟福祉センターで行われました。

この講座は、北後志5か町村が主体となり、聴覚障害者の生活に役立つ手話の初歩的な技術を習得させ、手話通訳者の養成を目指しています。

受講生は、北後志管内から26人、うち町内からは3人が受講し、楽しみながらも手話技術の習得に熱心に取り組んでいました。

なお、講座は来年の3月まで全19回予定されています。



港はきれいに使いましょう！ 10/29

美国漁港のプレジャーボート利用者で構成する美国漁港利用協議会（八戸良一会長）は、同港の清掃活動を行いました。

例年春と秋の年2回実施しているもので、今シーズン最後の活動に同協議会の会員40人が参加し行われました。

参加者は、港内の散乱物や海上に浮遊する空き缶やペットボトルなどを拾い集め、さまざまに混じり合ったごみを分別しながら約1時間清掃活動に汗を流しました。



今後の地域づくりに役立てて！ 11/1→2

積丹町自治会等連合会（菊谷富弥会長）が隔年で実施している町外視察研修が行われました。

各町内会から11人が参加した研修は、NHK札幌放送局を訪問し、同局内の見学や地上デジタル放送についての説明、職員との意見交換などを行いました。参加者からは現在の進捗状況について質問が出され、関心の高さを示すなど活発な意見交換となり、有意義な研修となったことと思います。

